

事務事業評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 事務事業の概要

事務事業名	民有緑地保全支援事業			事務事業コード	20280100
概要	良好な自然環境の保護又は美観風致を維持するため、一定基準を満たす樹木等の保存を奨励する				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市自然環境の保全及び育成に関する条例				
市関連事業					
対象	市民、神社、仏閣及び私立学校の所有者又は管理者				
実施の背景	緑の保護及び育成を目的に、樹木の剪定、消毒及び枯損の防止など樹木の維持管理に係る緑化費用の一部を補助することにより、緑ゆたかなまちづくりを推進する。				
事業目標	地域にある貴重な緑として維持できるよう現状を把握し、樹木の適正な維持管理に努める。				
事業内容	指定基準を満たした樹木及び樹林地について、これらの保護を奨励するための奨励金を交付する。				

2 事業計画・評価

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼保存樹木 指定本数2,103本 ▼保存樹林 面積829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木を残すため管理費の一部を所有者に助成する制度であり、約2,000本の樹木を指定している。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。老木化や宅地化により、樹木を維持管理することが難しくなっているため、市内にある民有地にある樹木の保存に対して、市がどのように関与していくか定める方針が必要である。また現状を把握するため、引続き現況調査を進めていく。	
H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼保存樹木 指定本数2,091本 ▼保存樹林 面積829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木の維持、保全に貢献した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。一方で、維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく。

令和 2年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続	B	樹木の保全に一定の貢献を果たしていると認識しているため、継続していく。一方で、維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく必要がある。	
B 現状のまま継続			
C 見直して継続			
D 休止・廃止等			
	1		
1 大幅な見直しは必要ない			
2 見直しには法令等の改正が必須			
3 見直しの必要性はあるが時期尚早			
4 現状では見直しが不可能			
1 見直し・縮小			
2 他事業との整理・統合			
1 休止			
2 廃止			
3 完了			

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
保存樹木の指定	1,942	計画 当初値	2,000	2,000	2,000	2,000	保存樹木の指定は、目標値を越えている。また、保存樹林の指定面積については、平成19年度以降面積が変わっておらず、今後も増える見込みが無い。しかし、現在の面積を維持することで自然環境の保全に努める。
		補正值	-	-	-	-	
	本 実績	2,091	-	-	-	-	
保存樹林の指定	984	計画 当初値	829.46	829.46	829.46	829.46	
		補正值	-	-	-	-	
	m ² 実績	829.46	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	6,490,000	6,555,000	6,543,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,490,000	6,555,000	6,543,000	0	0	0
予算現額	6,490,000	6,555,000	0	0	0	0
決算額	6,288,925	6,300,100	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,288,925	6,300,100	0	0	0	0
執行率	96.9%	96.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.61	0.61				
職員人件費	4,685,791	4,793,437				
嘱託員数	0	0				
嘱託員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	44,312	40,689				
総コスト	11,019,028	11,134,226	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内民有地にある貴重な樹木を残すために管理費の一部を所有者に助成し、樹木や樹林の保護・育成を支援した。約2,000本の樹木を指定している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1131000	補助金 樹木保存事業費	6,555,000	6,300,100	6,543,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							6,555,000	6,300,100	6,543,000

事務事業評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 事務事業の概要

事務事業名	まちかど空間緑化推進事業			事務事業コード	20280200
概要	公共花壇の適切な維持管理及び市民花壇への花苗の提供				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	都市公園法、都市緑地法				
市関連事業	府中市緑の基本計画2009				
対象	市民				
実施の背景	公園などのまとまった空間確保が困難な市街地においては、まちかどの小スペースを有効に活用した緑が生まれ、公共・市民花壇が市内に設置され、季節に応じた草花が市民の目を楽しませている。				
事業目標	まち全体の緑の個性と豊かさを育み、だれもが緑を楽しめる空間として、市民・公共花壇など「地域の庭」としてのまちかど空間緑化の普及を推進し、市民の緑に対する意識をより高める。				
事業内容	市民の協力を得ながら、緑が少ない地域などへの優先性を考慮した市民花壇の増設を進めるとともに、適切な維持管理を促します。また、市民が主体となった設置や維持管理などの緑化活動を支援するため、多様な草花の種子や苗、球根や肥料の提供、手入れの技術の講習などを行う。緑が少ない地域などへの優先性を考慮しつつ、公共花壇を公園や公共施設、道路などへ増設を進めるとともに、適切な維持管理に努める。花壇の設置に際しては、地域性を踏まえ、特色のある草花の植栽を行い、多くの人に親しまれる空間として、地域住民や事業者が主体となった維持管理を促進する。				

2 事業計画・評価

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>◇公共花壇：公園緑地等内の47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行った。</p> <p>◇市民花壇：環境政策課において、36か所の花壇（32団体）に対し、年1回の技術講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行った。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進した。</p> <p>◇花壇の適切な維持管理において、各地域で市民・事業者との協働による活動が行われた。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んだ。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<p>◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行う。また、河川敷にはコスモスの植付、菜の花などの種まきを行う。</p> <p>◇市民花壇：環境政策課において、36か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行う。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進する。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動をより発展させる。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んでいく。</p>

H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行なった。</p> <p>◇市民花壇：36か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行なった。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進した。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動が行われた。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んだ。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
<p>◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行う。</p> <p>◇市民花壇：36か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行う。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進する。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動をより発展させる。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んでいく。</p>

令和2年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	これまでは、都市化の進展に伴い失われた緑を確保するため、緑の量の確保に重点を置き、まちかどの小スペースを有効に活用した緑化として、公共花壇を設置し、美しいまちなみ景観を形成してきたが、市民の生活スタイルの変化や価値観の多様化が進み、より質の高い空間の確保が求められている。今後は、植生や回数を工夫し、「量」から「質」へ転換を図る。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	また、個性豊かな緑のまちづくりを進めるためには、「地域の庭」である市民花壇や公共花壇などのまちかどの緑化や「個人の庭」の一般公開などを、「セミパブリックガーデン」として体系化し、その普及を推進する。

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
市の面積に対する緑地の割合	24.7	計画 当初値	24.6	24.6	24.5	24.5	新設された公園・緑地がなく、緑のまちづくりの一環である、生産緑地も減少傾向にあることから、市内の緑地面積が減少している。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	%	実績	24.4	-	-	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	11,924,000	11,904,000	11,895,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,924,000	11,904,000	11,895,000	0	0	0
予算現額	11,904,000	11,904,000	0	0	0	0
決算額	11,336,255	11,755,046	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,336,255	11,755,046	0	0	0	0
執行率	95.2%	98.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.10	1.10				
職員人件費	8,449,786	8,643,903				
嘱託員数	0.2	0.2				
嘱託員人件費	624,080	625,177				
(間接経費)						
間接経費	394,260	311,491				
総コスト	20,804,381	21,335,618	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>緑化の余地に限られた市街地では、いかに緑化を図っていくかが重要となる。これまでもスポットパークの整備や、市民の協力による花壇の設置など、まちがどの緑化を進めた。 まちかどに良好な環境をつくり出す、スポットパーク55か所の設置。→35か所 (H30) 公共の場を彩る、公共花壇56か所の設置。→50か所 (H30) 地元住民による、市民花壇45か所の維持管理。→36か所 (H30)</p>
今後の課題・展開 (未達成の課題・具体的な方策等)
<p>都市化が進展するなか、緑が減少傾向にあることから、法制度等を適切に運用するほか、市民活動の効果的な支援のあり方を検討し、緑の保全を図る必要がある。 また、市の事業や市民、事業者との協働により緑化が推進されているが、『緑の基本計画』が平成31年度に改定を迎えることから、新たな緑の将来像を描き、地域の特徴や緑の多様な機能を踏まえた、より質の高い緑の空間づくりを進める必要がある。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1124000	公共花壇運営費	11,000,000	10,908,000	11,000,000
2	01	40	15	25	1123000	市民花壇運営費	904,000	847,046	895,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							11,904,000	11,755,046	11,895,000

事務事業評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 事務事業の概要

事務事業名	公園緑地等維持管理事業			事務事業コード	20280400
概要	公園や緑地などの維持・管理				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	都市公園法、都市緑地法				
市関連事業	府中市緑の基本計画2009				
対象	市民				
実施の背景	これまで数多くの公園・緑地が整備され、多くの市民に利用されていますが、経年による公園施設の劣化や樹木の成長など、維持管理上の問題が発生している。				
事業目標	公園・緑地が持つ機能を、今後とも十分に発揮できるよう、市民の協力を得ながら適切な維持管理を行っていく。				
事業内容	事故などを未然に防止し、だれもが安全に安心して公園を利用できるよう、公園施設の定期的な点検、利用頻度や維持管理コストに応じて、機能の改修の検討、様々な担い手による管理の仕組みを構築し、企業や地域住民などが主体となった維持管理を促進するなど、公園施設の維持管理を行います。 自然環境や風致を重視した公園、子どもの遊び場となる公園など、各公園の機能や役割を踏まえ、樹木の適切な維持管理を進め、樹木の成長により、見通しのきかない箇所、枝や落ち葉が隣接地に影響を及ぼしている箇所、樹木の密生により生育環境が悪化している箇所などを把握し、間引きや植替え、剪定など公園内の樹木の適切な管理を行います。				

2 事業計画・評価

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花運維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	◇市民からの苦情・要望による維持管理から予防保全型に切り替えることを目標に、公園・緑地等の適正な維持管理に努めた。しかしながら、全施設に対し適切な維持管理ができていない状況にあり、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度の活用、樹木の間引き、遊具の更新等、公園施設等の見直しに取り組んでいく必要がある。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花運維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	◇公園・緑地等を予防保全型の管理へと切り替える目標を達成するため、引き続き取り組んで行くとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用しながら、市民が親しみをもち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度についても働きかけを行っていく。 ◇公園・緑地等の利用状況に則した遊具等の更新や、巨木化した樹木の間引きなど公園施設等の見直しに取り組む。	
H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花運維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	市民からの苦情・要望による維持管理から予防保全型に切り替えることを目標に、公園・緑地等の適正な維持管理に努めた。しかしながら、全施設に対し適切な維持管理ができていない状況にあり、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度の活用、樹木の間引き、遊具の更新等、公園施設等の見直しに取り組んでいく必要がある。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花運維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等	◇公園・緑地等を予防保全型の管理へと切り替える目標を達成するため、引き続き取り組んで行くとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用しながら、市民が親しみをもち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度についても働きかけを行っていく。 ◇公園・緑地等の利用状況に則した遊具等の更新など公園施設等の見直しに取り組む。

令和2年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市民意識調査の結果としては、高い水準を維持しており、重要度を含め、緑の整備に対する関心が高いことが伺えることから、市民協働によるボランティア制度を拡充し、公園・緑地等に対しより親しみをもち、満足度の向上を図りたい。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	69.9	計画 当初値	70	71	72	73	市民意識調査の結果としては、高い水準を維持しており、重要度を含め、緑の整備に対する関心が高いことが伺えることから、市民協働によるボランティア制度を拡充し、公園・緑地等に対しより親しみを持ち、満足度の向上を図りたい。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	%	実績	73	-	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	605,405,000	650,231,000	872,353,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	14,773,000	16,579,000	26,587,000	0	0	0
一般財源	590,632,000	633,652,000	845,766,000	0	0	0
予算現額	606,494,000	781,726,000	0	0	0	0
決算額	573,367,112	772,856,617	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	17,185,494	16,419,835	0	0	0	0
一般財源	556,181,618	756,436,782	0	0	0	0
執行率	94.5%	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	7.30	9.60				
職員人件費	56,075,855	75,437,702				
嘱託員数	0.8	0.8				
嘱託員人件費	2,496,320	2,500,709				
(間接経費)						
間接経費	2,456,545	2,491,942				
総コスト	634,395,832	853,286,970	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ◇地域の特性や安全性を考慮した公園・緑地の整備 ◇公園・緑地を安全・安心に利用できる環境づくりに向けて、市民からの意見、要望への対応 ◇公園樹木について、緑の豊かさを確保した適正な管理 ◇公園等の安全点検の実施 ◇地元自治会などによる定期的な公園施設の点検
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
公園・緑地の整備及び維持管理に際しては、利用者が安心して利用できるよう、見通しを良くする、照明の適切な配置を進めるなど、安全・安心を確保することが必要である。また、市民からの様々な苦情、意見、要望等に迅速に対応していくため、特に安全性に配慮する中で地域にあった維持管理の方法を考えていく必要がある。このため、府中市インフラ管理ボランティア制度を活用し、市民や事業者との協働による安心・安全な公園・緑地等を維持し、市民が親しみを感じることができるよう公園等の空間づくりを行っていかなければならない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1103000	公園緑地等管理費 管理委託料	564,614,000	654,163,063	731,472,000
2	01	40	15	20	1104000	公園緑地等管理費 光熱水費	27,271,000	30,419,874	28,937,000
3	01	40	15	20	1105000	公園緑地等管理費 諸経費	58,346,000	88,273,680	111,944,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							650,231,000	772,856,617	872,353,000

事務事業評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 事務事業の概要

事務事業名	公園緑地等整備事業			事務事業コード	20280500
概要	既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進める				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	都市公園法、都市緑地法				
市関連事業	府中市緑の基本計画2009				
対象	市民				
実施の背景	公園等の配置状況は、住宅市街地の多くが、身近な公園の圏域とされる半径250m内に含まれており、1人当たりの都市公園面積は、人口増加により伸び悩んでいるが、周辺都市より高く、量的な充足している。				
事業目標	既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指します。				
事業内容	水と緑のネットワーク形成方針に基づき、市の核となる公園は「緑の中核的な拠点」として、地域の核となる公園は「地域における緑の拠点」として、緑道等は「水と緑のネットワークゾーン」として優先的に整備を行う。 また、歩いて行ける公園等の整備として、身近な公園の圏域とされる半径250m内に都市公園の整備を引き続き進めていくものとし、都市公園の整備が困難な場合は、安定的な利用が可能な条例等の公園整備を行う。				

2 事業計画・評価

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、外柵改良、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇西原町四丁目公園（仮称）築造工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りのため、公園・緑道の整備・補修を行った。 ◇西原町四丁目公園の築造工事が行われ、平成30年3月末に開園した。 ◇開設から25年以上経過した153公園のうち、本年度は51公園の公園施設長寿命化計画を策定した。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇第1期の四谷さくら公園拡張整備工事を行う。 ◇3年計画の最終年として、50公園の公園施設長寿命化計画を策定する。 	
H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇第1期の四谷さくら公園拡張整備工事を行う。 ◇3年計画の最終年として、50公園の公園施設長寿命化計画を策定する。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇第2期の四谷さくら公園拡張整備工事を行う。 ◇公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。

令和2年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化計画を進め、防災機能の向上や施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを推進していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
市民1人当たりの都市公園 面積	7.04	計画 当初値	6.93	6.94	6.94	6.95	身近に利用できる公園として、圏域とされる半径約250メートル内に適切に配置することを基本として、概ね適切に配置されている。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	m ² /人	実績	6.9	-	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	117,825,000	293,165,000	468,274,000	0	0	0
国庫支出金	10,000,000	56,500,000	60,000,000	0	0	0
都支出金	0	25,000,000	15,000,000	0	0	0
市債	0	0	67,000,000	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	107,825,000	211,665,000	326,274,000	0	0	0
予算現額	134,819,000	302,528,000	0	0	0	0
決算額	119,550,758	286,874,821	0	0	0	0
国庫支出金	5,000,000	36,000,000	0	0	0	0
都支出金	0	16,033,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	114,550,758	234,841,821	0	0	0	0
執行率	88.7%	94.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.60	4.00				
職員人件費	27,653,846	31,432,376				
嘱託員数	0	0				
嘱託員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	1,091,797	958,432				
総コスト	148,296,401	319,265,629	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
公園等の配置状況は、住宅市街地の多くが、歩いて行ける身近な公園の圏域とされる半径250m内に含まれており、1人当たりの都市公園面積は、昨今の急激な人口増加による影響を受け伸び悩んでいるが、周辺都市と比較すると高く、量的には充足している。既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指し、水と緑のネットワーク形成方針に基づき、市の核となる公園は「緑の中核的な拠点」として、地域の核となる公園は「地域における緑の拠点」として、緑道等は「水と緑のネットワークゾーン」として優先的に整備を行った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
水と緑のネットワークの形成を基本的な考え方とした整備を進めるとともに、災害時や地域活動など多角的に活用できるようにするため、機能の充実を図る必要がある。また、誰もが親しむことができる公園とするため、市民や事業者とともに公園づくりに取り組んでいく。また、歩いて行ける公園等の整備として、身近な公園の圏域とされる半径250m内に都市公園の整備を引き続き進めていくものとし、都市公園の整備が困難な場合は、安定的な利用が可能な条例設置による公園整備を行う。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1107000	負担金 日本公園緑地協会	85,000	85,000	85,000
2	01	40	15	20	1111990	公園緑地等整備事業費 設計委託料	4,500,000	12,728,880	
3	01	40	15	20	1112010	公園緑地等整備事業費 整備工事費	255,180,000	244,648,944	441,520,000
4	01	40	15	20	1112030	公園緑地等整備事業費 測量設計委託料	3,000,000	2,970,074	5,000,000
5	01	40	15	20	1113500	公園灯LED化整備等事業費 設置等委託費(債務負担行為解消分)	4,720,000	4,719,168	8,289,000
6	01	40	15	20	1117000	公園緑地等整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
7	01	40	15	20	1124500	公園等事業用地管理費	2,080,000	2,045,155	2,180,000
8	01	40	15	20	1136300	公園施設長寿命化計画策定費	22,600,000	19,677,600	10,200,000
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							293,165,000	286,874,821	468,274,000

事務事業評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 事務事業の概要

事務事業名	緑の基本計画策定事業			事務事業コード	20280600
概要	緑のまちづくりを推進するための指針となる基本計画を策定する				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	法定事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成28年度～	見直しの裁量
根拠法令等	都市緑地法第4条				
市関連事業	府中市総合計画、府中市都市計画マスタープラン				
対象	全市民				
実施の背景	現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえて計画の改定を行う。				
事業目標	平成28年度から平成30年度の3年間で、現行計画の全面改定を行い、平成31年度から平成40年度までの新たな10年に向けて、府中市の緑の保全及び整備、緑化の方向性を定める。				
事業内容	「緑の基本計画」は、都市緑地法第4条に基づき、公園・緑道などの公共施設から住宅地・商店街・工場などの民間施設の緑を含めた地域全体の「緑の将来像」を描き、この実現のために、多くの取組を体系的に位置づけた緑の総合的な計画で、第6次総合計画の「緑の整備」における「緑のまちづくり」を推進するための指針となる計画を、平成28年度から平成30年度の3年間で、現在の府中市の緑の状況を把握し、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、庁内・外の検討協議会での意見等を取り入れ、改訂版の「緑の基本計画」策定する。				

2 事業計画・評価

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇緑に関する市民意識調査の実施。 ◇外部委員による緑の基本計画検討協議会を設置し、改定に向けた検討・協議を行う。	◇2000人の市民に対し、緑に関する市民意識調査を実施し、回答率は35.2%であった。 ◇外部委員による緑の基本計画検討協議会を設置し、3回の協議会を開催し、法律改正や社会情勢の変化、市内の自然環境の変化等を踏まえ、改定に向けた検討・協議を行った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
◇引き続き改定に向けた検討・協議を行い、協議会から市長へ答申を行う。	◇改定作業に若干の遅れが生じているが、本年度中に協議会からの答申を受け、基本計画のとりまとめを行う。	
H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 C 見直して継続
協議会にて、改定に向けた検討・協議を行った。	改定作業に遅れが生じたため、協議会からの答申は来年度となった。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
引き続き改定に向けた検討・協議を行い、協議会から市長へ答申を行う。	改定作業に遅れが生じたため、本年度中に協議会からの答申を受け、基本計画のとりまとめを行う。

令和2年度における事業の位置付け		D	「府中市緑の基本計画」は、当初平成11年度に策定、平成21年度に改定し「府中市緑の基本計画2009」とした。社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、第6次府中市総合計画および府中市都市計画マスタープランとの整合を図り、平成28年度から引き続き計画の改定作業を行っている。計画策定により事業は完了となる。
A 重点化・拡大して継続			
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止	3	
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度		
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することができないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	7,790,000	5,205,000	8,188,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,790,000	5,205,000	8,188,000	0	0	0
予算現額	7,790,000	6,626,000	0	0	0	0
決算額	7,188,400	6,452,587	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,188,400	6,452,587	0	0	0	0
執行率	92.3%	97.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.30	1.30				
職員人件費	9,986,111	10,215,522				
嘱託員数	0	0				
嘱託員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	394,260	311,491				
総コスト	17,568,771	16,979,600	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>「府中市緑の基本計画」は、当初平成11年度に策定し、平成21年度に改定し「府中市緑の基本計画2009」とした。この度、現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、第6次府中市総合計画および府中市都市計画マスタープランとの整合を図り、平成28年度から平成30年度の3年間で計画の改定を行う。計画策定は平成31年度の見込みとなった。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、庁内・外の検討協議会での意見等を取り入れ、改訂版の緑の基本計画として広く公表する。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1136400	緑の基本計画策定費	4,630,000	6,036,120	7,843,000
2	01	40	15	25	1136500	緑の基本計画検討協議会運営費	575,000	416,467	345,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,205,000	6,452,587	8,188,000